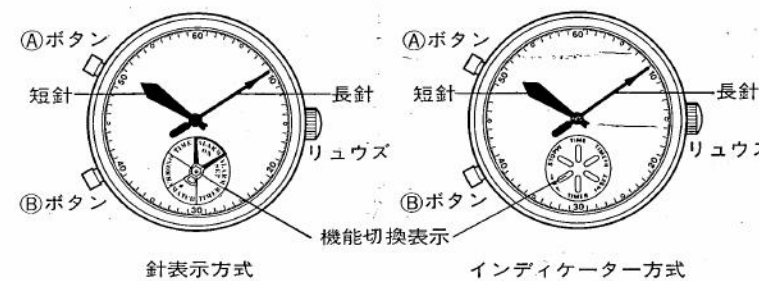
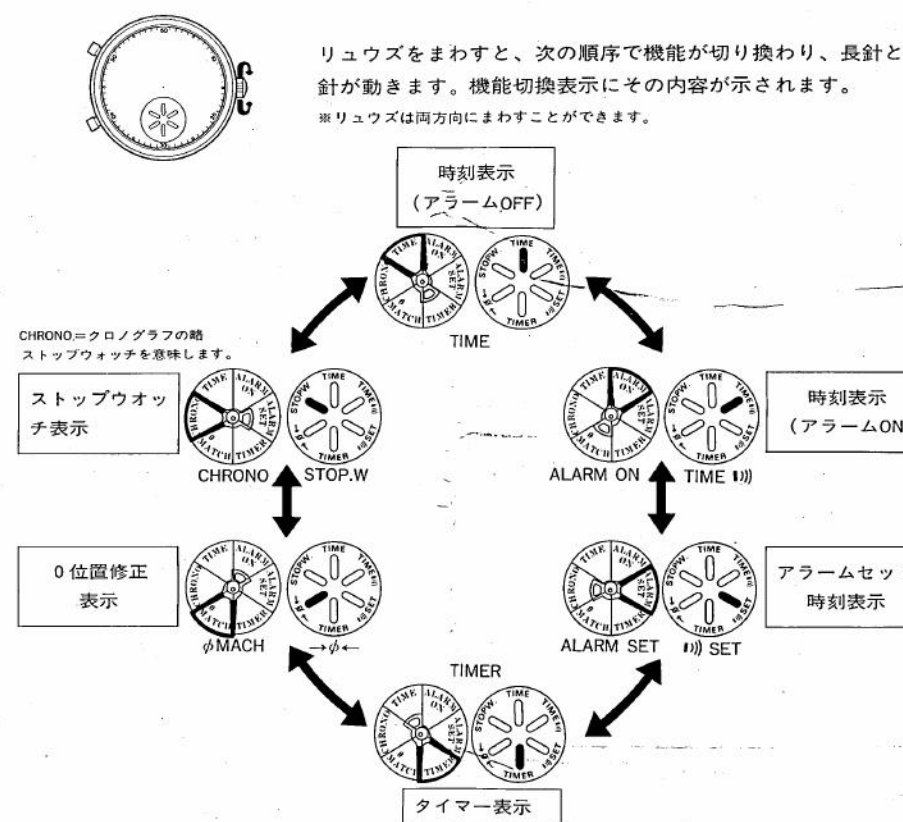


- この8M25/8M26はアラーム機能、ストップウォッチ機能などを搭載した多機能アナログ時計です。
 - ①長針/短針がそれぞれ独立したモーターで駆動し、様々な役割をします。
 - ②リユーズをまわすだけで機能を切り換えることができます。
 - ③それぞれの機能を同時に並行して使用することができます。

機能の切り換え表示に2つのタイプがあります。

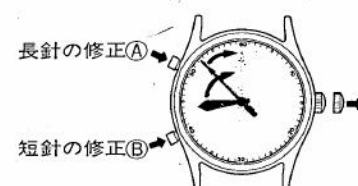


●機能の切り換え



ご使用になる前に必ず針が0位置に合っているか確認してください。

- リュウズをまわして **0 位置修正表示** にしてください
- 針が 0 位置（12 時 00 分の位置）に合っていない場合のみ以下の修正を行なってください。



- ①リュウズを引き出します。 ②ボタン⑨を押すごとに長針が、ボタン⑩を押すごとに短針が少しづつ進みますので0位置に合わせてください。
※ボタンを押し続けると針を早送り ③リュウズをもとの位置まで確実に押し込んでください。

1. 水晶振動数.....32,768Hz (H_z = 1秒間の振動数)

2. 携持精度.....常温 (5℃ ~ 35℃) において月差±15秒以内

3. 作動温度範囲.....-10℃ ~ +60℃

4. 駆動方式.....ステップモータ式 (2個)

5. 表示内容

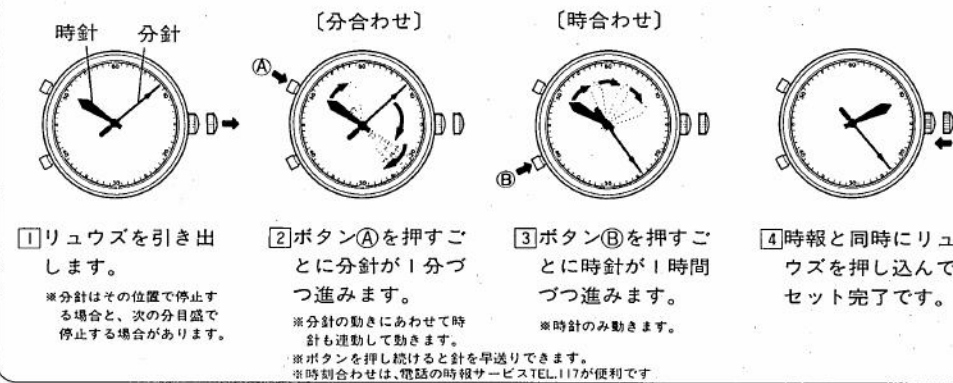
時刻表示 (アラーム OFF)	時 (3分進計)・分 (12秒進計)
時刻表示 (アラーム ON)	時 (3分進計)・分 (12秒進計)
アラームセット時刻表示	時・分、24時刻
タイマー表示	分 (15秒進計)・秒 (0.2秒進計)、最大60分間、最小1分間
0.0位置再表示	時・分
ストップ/スタート	分 (15秒進計)・秒 (0.2秒進計)、60分間、0.2秒計測

6. 使用電池.....小型銀電池 SB-BN 1個

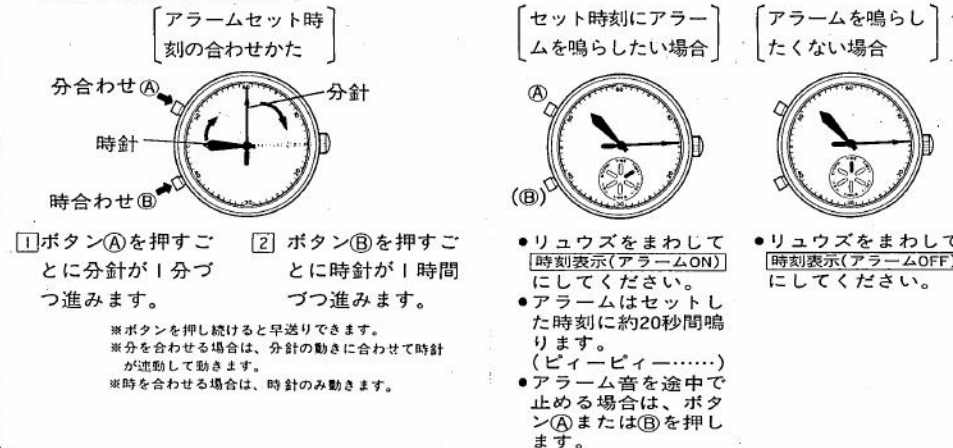
7. 電子回路.....C-MOS-LSI 1個

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

- リュウズをまわして **時刻表示(アラームOFF)** 又は **(アラームON)** にしてください。長針が分、短針が時を示す 時計の表示となります。

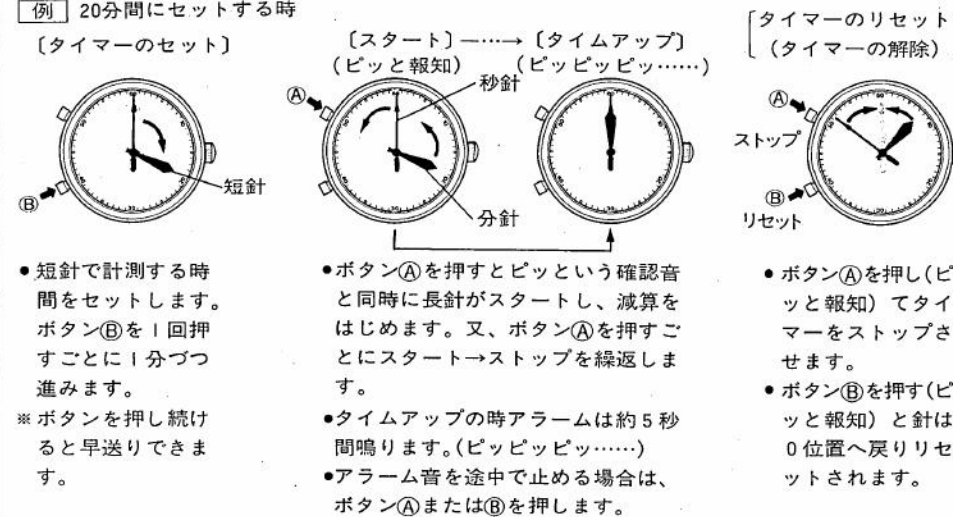


●リュウズをまわして **アラームセット時刻表示** にしてください。12時間に1回鳴るアラームをセットすることができます。



- リュウズをまわして「**タイマー表示**」にしてください。長針が0.2秒ずつ刻む秒針、短針が分針として動くタイマーになり、針は0位置に止まります。(※)
- 最大60分まで1分単位のタイマー時間をセットできます。
- 針はタイマー作動中、**逆回転**(←まわり)に動きます。
- タイマー作動中、他の表示に切換えてもタイマーは作動し続けますがストップの状態の場合は自動的にリセットされます。

(※) 針が0位置に止まらない場合は、ご使用方法→針の0位置修正の項に従ってください。



サウンドデモンストレーション(アラーム音の試し聴き)

- リュウズをまわして「時刻表示(アラームON)」にしてください。

ボタン(A)と(B)を同時に押します。押している間、アラーム音の試し聴きができます。

デモンストレーション運転

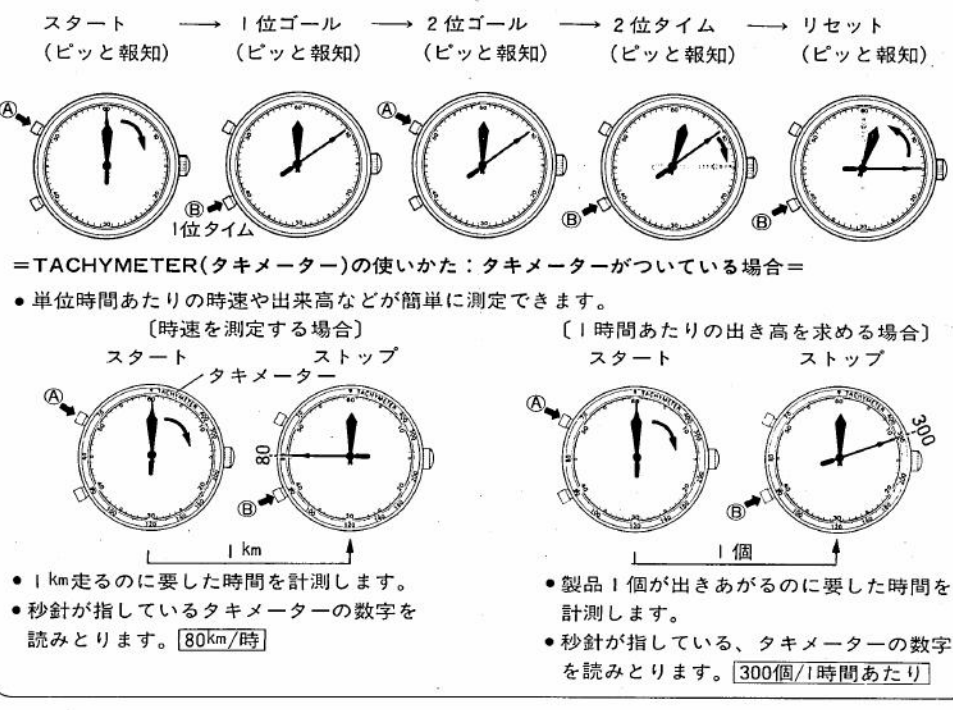
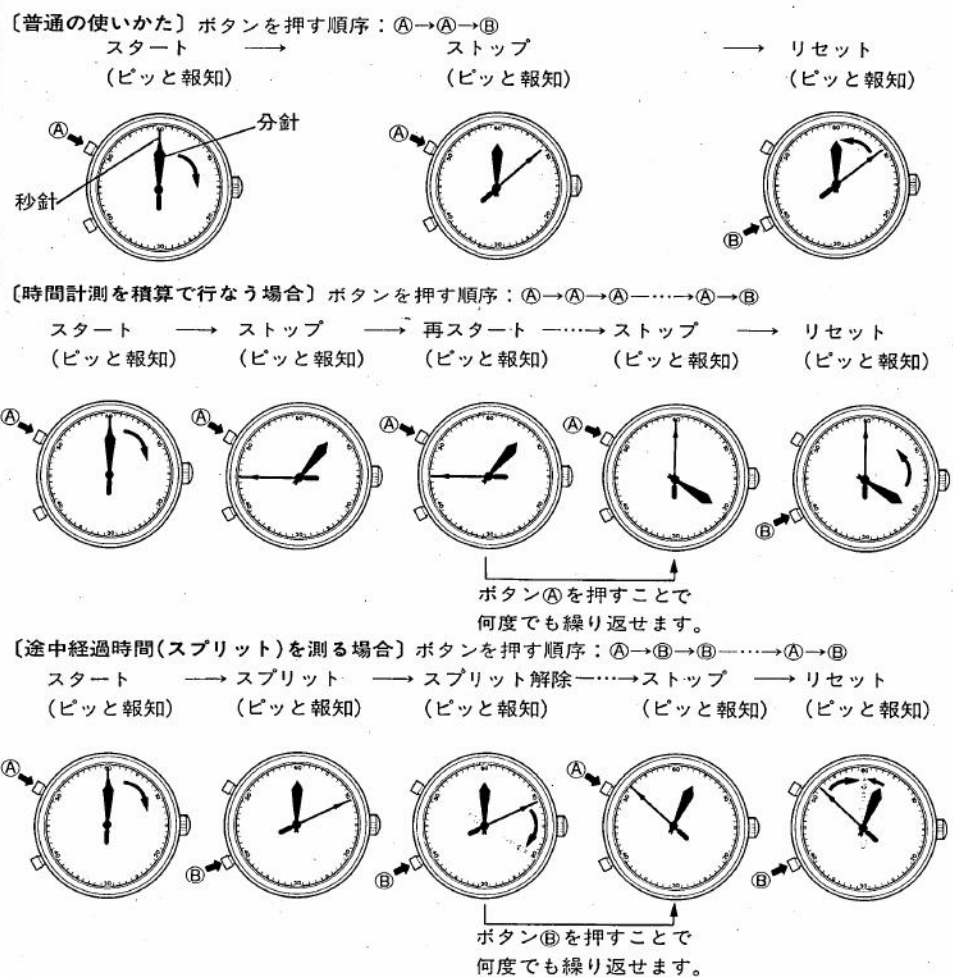
- リュウズをまわして「0位置修正表示」にしてください。

- ボタン(A)または(B)を押します。時計は左へ、分針は右へ断続的な動きをします
- ボタン(A)または(B)をもう一度押しますと針は0位置へ戻りリセットされます。
- リセットしなくてもデモンストレーションは約3分で自動的に止まります。

・リュウズをまわして **ストップウォッチ表示** にしてください。長針が0.2秒づつ刻む秒針、短針が分針として動くストップウォッチとなり計は0位置にとまります(※)

- 最大で60分間。0.2秒単位で計測できます。
- 計測中、他の表示へ切り換えても、ストップウォッチは作動していますが、ストップ状態でよりセット、スプリット状態でスプリット解除となりますのでご注意ください。

※ 長針が0位置に止まらない場合は、ご使用方法の0位置修正の項に従ってください。



電池を交換した後は、時計内のIC情報と針の表示位置が一致しくなりますので、次の手順にしたがって操作をしてください。

●リュウズをまわして **0 位置修正表示** にしてください。

① ●リュウズを引きます。

- ボタン(A)と(B)を同時に約3秒間押します。
- ボタンをはなすと「ピーー」と報知します。
- 針がデモンストラーション運転針します。

② ボタン(A)または(B)を押します。

針は止まります。

③ ボタン(A)と(B)で針を0位置に合わせます。

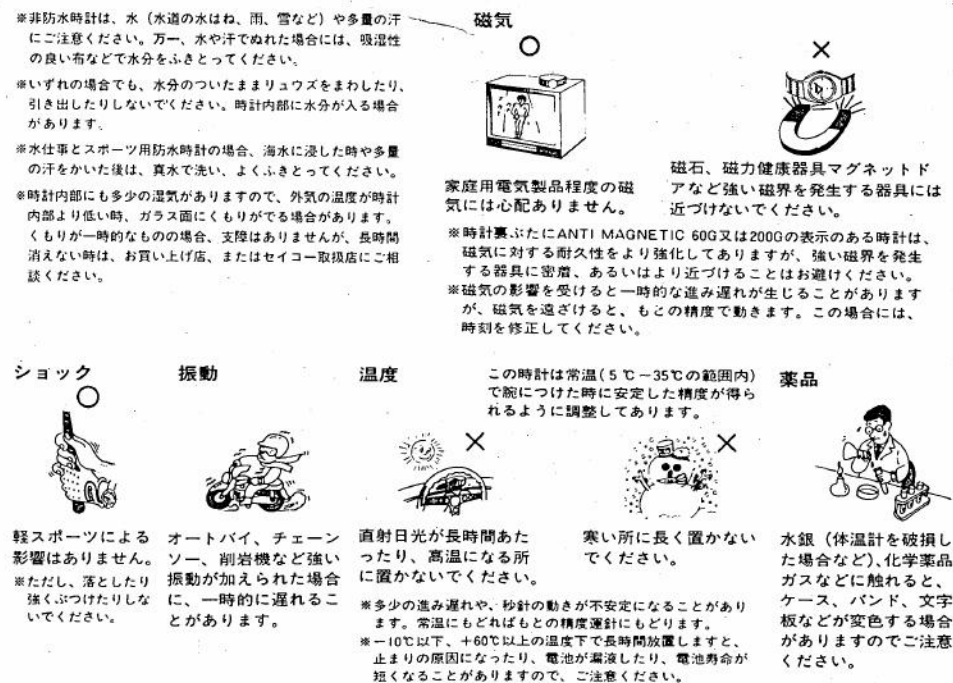
(「針の0位置修正」の項を参照ください。)

④ ●リュウズを押し込みます。

- リュウズをまわし **時刻表示** にしてください。

(「時刻の合わせかた」の項を参照ください。)

●防水性能		時計の文字板及び裏ふたにある防水性能表示をご確認の上、下図をご参照ください。			
時計の防水表示 上段：文字板 下段：裏ふた	使用例				
	防水の水準	雨や流汗など日常生活で予想される「水がかかる」程度	水仕事（食器洗・洗濯・食卓など）やスポーツ（水泳・ヨガ・エクササイズなど）	酸素ボンベを使用する潜水（スキューバダイビング）	
	表示なし	×	×	×	
	表示なし	×	×	×	
	表示なし WATER RESIST	○	×	×	



点検のおすすめ 電池交換時は2～3年に1度の点検をおすすめします。油汚状態・漏液の有無・汗や水分浸入の有無などを、お買い上げ店またはセイコー取扱店で点検してもらってください。点検の結果によっては、分解掃除を必要とする場合があります。 ※その時にバックアップやバネ巻の交換をご依頼ください。 ※部品交換のときは「セイコー純正部品」とご指定ください。	ケース・バンドのお手入れ ケース、バンドには汚れや汗や水分はサビの原因になりますので、柔らかい吸水性の良い布などでふき取ってください。 ケース、バンドは肌着類と同様に直接肌にはつけてはいけません。汚れたままにしておきますとサビで、衣服の袖口を汚したり、皮ふの弱い場合はかぶれたりする場合がありますので常に清潔にご使用ください。	バンドは多少余裕をもたせ通気性を良くしてご使用下さい。特に金属バンドについては、時々柔らかい歯ブラシ等を使い、石けんで部分洗いをしてお手入れをお願いします。 その際、非防水時計の場合には、時計本体に水がかからないようにご注意ください。	回転ベゼル付時計の場合、ベゼルに汚れ等がたまり機能を損なう場合がありますので清潔にしてご使用下さい。
--	---	---	---

電池寿命	電池の消耗	電池交換
この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約2.5年間作動します。 ※ただし、電池はアルウム1回、タイマーを5分、ストップウォッチを5分それぞれ1日使用することを基準としていますので、それ以上使用した場合は、2.5年に満たないうちに容量が切れます。 ※この時計には、工場出荷時に時計の機能を点検し、性能を審査するまでに使用した電池<モニター電池…機能検査用電池>が組み込まれているので、お買上げ後2.5年に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。 ※電池寿命が切れた場合は、保証期間中であっても電池交換は有料となります。	針を止めておいても電池は消耗します。 止めてある時計を動かすときに、直ちに正しく時計が動くように、回路には微弱電流を常に流すようにしてあります。 また電池は自然放電によって少しずつ消耗します。	電池交換は必ずお買い上げ店、またはセイコー取扱店で「セイコー純正SB電池」とご指定の上、ご用命ください。 電池が切れたまま、長時間放置しますと、漏液等で故障の原因になりますのでお早めに交換してください。 ※時計から電池をとりだした場合、電池は幼児の手が届かないところに保管してください。 万一飲み込んだ場合には、ただちに医師とご相談ください。

保証期間中に、取扱説明書にそった正常なご使用状態で、万一故障した場合には、保証書をおえてお買い上げ店、または「セイコー取扱店」にお持ちください。

保証内容等、保証書に記載したとおりです。この時計の修理用品の保有期間は、通常7年を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理は可能です。

修理用品とは、製品の機能を維持するのに不可欠な時計本体の部品です。

修理の可能な期間は、ご使用条件によりちろしく異なります。精度ももと通りにならない場合がありますので修理ご依頼の際に取扱店とよくご相談ください。

修理のとき、ケース、文字板、ガラス、バンド、チェーンなどは、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

セイコークォーツウォッチについてのご相談は、「お買い上げ店」またはお近くの「セイコー取扱店」でうけたまわっております。なお、ご不明の点があつたとき、裏面の「サービスセンター」及び「お客様相談室」へお問い合わせください。